

(お知らせ)

当所1号機の原子炉給水ポンプバイパス弁不具合の対応状況について

平成22年5月23日
東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

当所1号機については、5月21日午後10時45分より復水器の真空度の上昇操作を開始し、プラント全体の機能試験を開始しておりますが、5月22日午前中に原子炉給水ポンプバイパス弁にシートリーク*等の不具合が確認されました。

(平成22年5月22日お知らせ済み)

原子炉給水ポンプバイパス弁の弁体のシート面に隙間が発生している可能性があることから、これまで増し締め等による復旧作業を行ってまいりましたが状況が改善されないため、原子炉給水ライン注入弁に繋がる各系統の弁も含めて合計7台の弁について調査を行いました。

その結果、タービン駆動原子炉給水ポンプ吐出弁(B)についても、弁体のシート面に隙間が発生している可能性があることが確認されたことから、今後、原子炉給水ポンプバイパス弁およびタービン駆動原子炉給水ポンプ吐出弁(B)について詳細に点検を行うことといたしました。

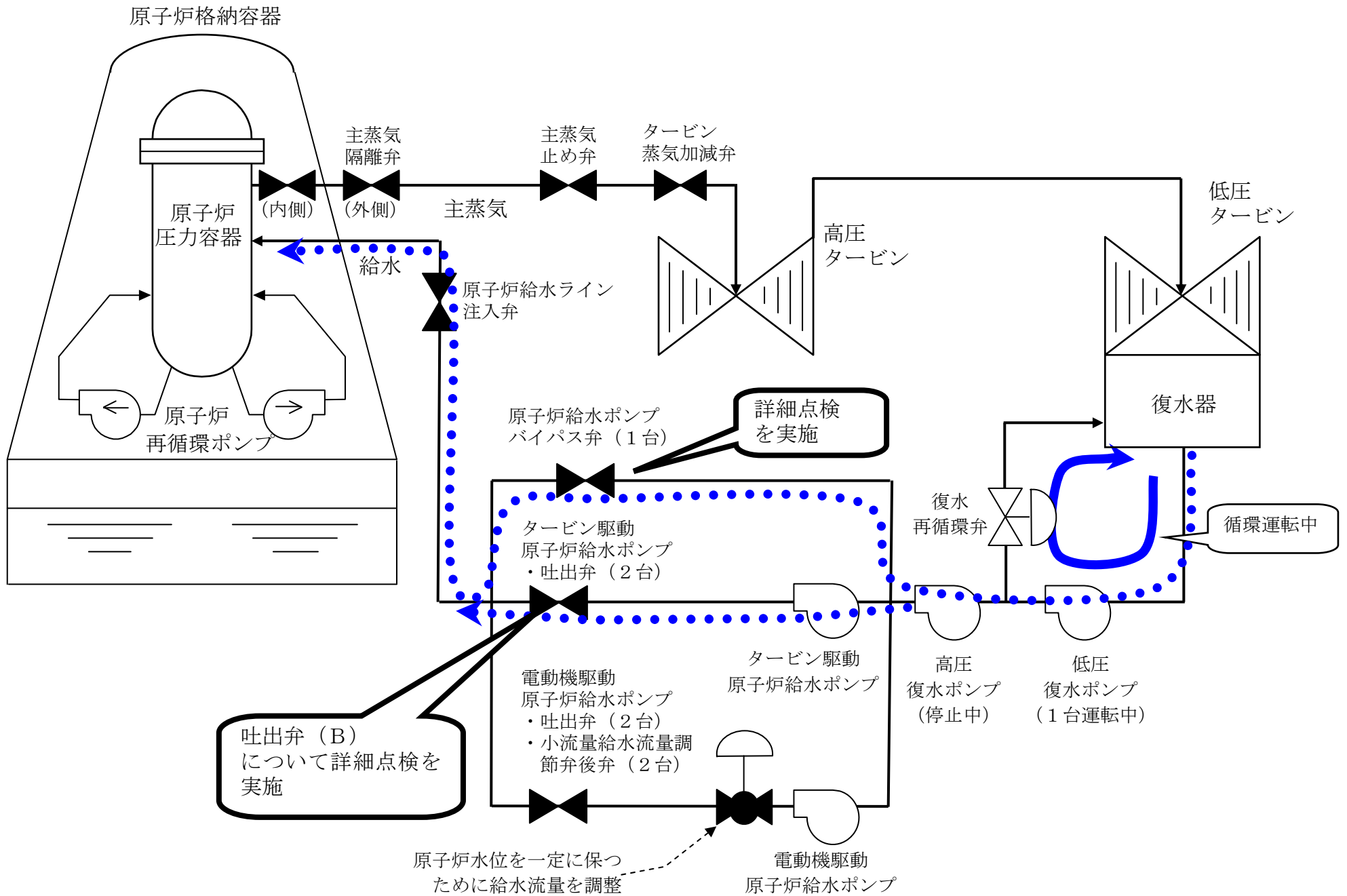
このため、復水器の真空度については、一旦、大気圧に戻すことにいたしました。

今後の原子炉起動操作のスケジュールにつきましては、当該弁の復旧状況とあわせて決まり次第あらためてお知らせいたします。

以上

* シートリーク

弁のシート面(液体などの流れを遮る部分)に隙間が生じて、配管内の流れを止めることができない状態。



柏崎刈羽原子力発電所 1号機

系統概略図